

# 海外実習情報資料

## 【実習者氏名】

S.X

N.S

## 【実習先】

Stanford University Medical Center Department of Cardiothoracic Surgery

## 【実習期間】

2016年1月11日～2016年2月5日

## 【必要な準備】

阪大への提出書類：TOEFL iBT の証明書（80点以上）

受け入れ先の承認書類（メールでも可）

志望動機書類

留学願い

スタンフォード大学への提出書類：OR observer policy

OR visiting observer attestation agreement

OR observer immunization history

TB questionnaire

各種予防接種の証明（T-dap の接種が必要）

## 【実習に必要な物】

白衣、現地での携帯電話（テキストでのやり取りが多い）

（スクラブは貸してもらえるので、実習着はそんなにいりません。）

## 【実習内容】

LVAD 手術見学、MICS 僧房弁形成術見学、心移植・心肺同時移植見学  
病棟、ICU の見学

心臓血管手術実習（血管縫合、弁置換）

Stem cell 関連のセミナー

小動物・大動物を使った基礎研究見学・体験

Lab meeting、カンファレンスへの参加

Fogarty lab 見学

## 【宿泊先】

大学近辺の share room（7、8人で）1か月で1000\$ /人

大学寮は高価すぎるので、自分で探さなければいけない

## 【観光地】

国際免許証を取っておくと便利です

Yosemite National Park (大学から車で3時間)

San Francisco 市街地 (大学から電車で1時間)

シリコンバレー (Google 本社、Apple 本社、Facebook 本社、Intel 本社など)

ナパバレー (車で1時間半)

リッジワイナリー、マウンテンワイナリー (車で30分)

モントレー、カーメル・バイ・ザ・シー (車で1時間半)

#### 【日程表】

日付	活動内容
1/11(月)	オリエンテーション、事務手続き
1/12(火)	英語の授業への参加、ITAを用いたマウス実験の見学
1/13(水)	suturing lectureへの参加、豚のMRIの見学
1/14(木)	マウスのエコーの見学、英語の授業への参加
1/15(金)	iPS細胞についてのlecture、ラットの挿管の体験
1/19(火)	事務手続き、lab meetingへの参加、ITAを用いたマウス実験の見学
1/20(水)	LVADの手術見学、池野文昭先生と会食
1/21(木)	ラットのbone marrow採取の見学、カンファレンスへの参加
1/22(金)	人工心臓、補助循環についてのlecture
1/23(土)	樺澤哲先生との面会
1/25(月)	suturing lectureへの参加、マウスの挿管の体験
1/26(火)	心臓移植のprocurementへの同行、transplantの見学
1/27(水)	
1/28(木)	GFPマウスを用いた実験の見学、カンファレンスへの参加
1/29(金)	LVADの手術見学、実験見学
1/30(土)	日本人研究者等ネットワーク交流会への参加
2/1(月)	心肺同時移植のprocurementへの同行、transplantの見学
2/2(火)	lab meetingへの参加
2/3(水)	僧房弁形成術の手術見学、ITAを用いたマウス実験の見学・体験
2/4(木)	肺移植のprocurement, transplantの見学
2/5(金)	Fogarty Institute for Innovationの施設見学

#### 【費用】

旅費	13万
宿泊費	12万
食費	5万
観光費など雑費	10万
岸本奨学金	-15万

#### 【アドバイス】

良かったこととしては、移植症例を豊富にみる事ができたこと、心臓外科での最先端の研究を学べたこと、日本とアメリカでは医学生やレジデントの教育制度、患者の保険制度が大きく異なることを実感できたことその他、現地の学生と交流できたことや、日本から留学されている他科の先生方や、他職種の方と交流できたことなどがあります。

自分からアクティブにいけばいくほど、いい経験をさせてもらえるので、積極的に先生に要望を伝えたり、現地の先生・学生と交流していくといいと思います。

また、ヨセミテ国立公園の自然は壮観です。人生で一度は訪れるべきでしょう。